

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成30年7月2日
タイトル	箕島1期地区農地耕作条件改善事業の取材を受けて
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成30年6月22日（金）水土里ネット福山へ広島県農林水産局農業基盤課企画調査グループ並びに水土里ネット広島から福山市箕島町の釣ヶ端新開地区で施行している箕島1期地区農地耕作条件改善事業の取材に来られたので同行しました。

この箕島町釣ヶ端新開地区は、疏水百選の芦田川用水の受益地で現在約40haの畑地にパイプラインが張り巡らされ地域ブランドのハウレンソウや金時にんじんなどが栽培されている地域です。



【箕島1期地区 農地耕作条件改善事業】

総事業費 277,000千円
 事業期間 平成28年度から平成30年度
 事業内容 農業用排水路 L=2.7km
 土水路を三面コンクリート水路へ改修
 暗渠排水の効果が得られる



この地区では、これまで基幹的な施設整備を施行しているものの縦横の農業用排水路は土水路のため受益者が人力により掘浚を行い過重な労力を費やしており、労力軽減と排水対策として再整備が必要なため平成26年度から広島県、福山市の関係部署及び農業委員会・JAと水土里ネット福山で再整備協議会を立ち上げ、対象事業を模索する中、農地中間管理事業の重点地区としての取り組みが評価されるとともに農業農村整備事業に関わる国の支援制度と予算の拡充があり平成28年度に事業採択されました。採択後も事業の全体計画についてなど現在まで6回の協議会を開催し、関係機関や受益者と連携し事業推進しています。



平成29年度までに全体の約3分の2の排水路を改修し、既に供用開始した区域において確実に排水機能の向上が図られており、引き続き箕島2期地区農地耕作条件改善事業の採択を要望しているところです。

地区内で栽培している「金時にんじん」やパイプラインから取水する様子も取材されました。

